

I 基本方針

私たち公益財団法人射水市文化振興財団は、今年度高周波文化ホール及びアイザック小杉文化ホールという主要2施設において指定管理者選定公募に応募し、去る12月射水市議会において議決をいただき、令和2年度から6年度までの5年間引き続き指定管理者として選定されることとなりました。

この応募に当たっては、これまでの全職員の問題意識を集約し、市民の期待に応じていくための施設運営の考え方をまとめ、事業体系として提案したところです。

その意味で、令和2年度は新たな指定管理期間の初年度に当たり、とりわけ提案に即した形で事業推進を図っていきたくと考えています。

キーワードとしては、「快適安全居住都市射水」を芸術文化振興面からサポートすること、「費用対効果」の視点を常に意識して運営に当たること、市民に対しての「説明責任」を果たす運営に努めることの3点です。まずは市民の信頼を得て運営に当たることが肝要であると考えております。

事業運営の基本コンセプトは、「薫り高い芸術文化都市を市民とともに創りあげていく」としています。市民が主人公ということを常に念頭に運営を進めてまいります。そして、その基本コンセプトを実現していくための体系として3つの視点からアプローチを進めます。

第1点目は芸術文化振興を生かしたまちづくりです。拠点施設での公演事業の充実を図ることはもちろん、指定管理施設以外の施設及び学校等とも連携しコンサート等を開催し、街の活性化にも私たちのノウハウを生かしていきたいと考えています。なお、貸館事業については現在の稼働率をより向上させるため各種の取組を進め、それぞれの施設設置目的の達成に努めていきます。

第2点目は芸術文化振興を通じた人づくりです。市民主体の普及育成事業のさらなる活性化に努めます。射水市の明日を担う青少年に対して芸術文化に親しむ環境づくりに取り組む一方で、(仮称)射水アーチストクラブの組織化に取り組みます。射水市は芸術文化人材の宝庫であり、ネットワークを図ることで本市芸術文化振興の起爆剤につなげていきたいと考えています。

第3点目は芸術文化振興をまちづくりに生かす仕組みづくりです。現在当財団は市内4文化施設を受託していますが、市民に納得される芸術文化活動を進めていくためには、より広範な情報の集約が必要です。射水市の担当課、県内文化施設及び市内立地の大島絵本館等の文化施設等との情報交換を密にしていくため、(仮称)射水市文化連絡会議の設置を射水市に対して働きかけていきます。また、一方で高度情報化時代に適応した広報発信も活用するほか、市出身アーチスト情報等の収集にも積極的に取り組みます。そして何よりもこれらの取組を確実に進めていくためには事務局機能の向上が必須であると考えています。職員についてはその資質向上のため、効率的効果的な事務局運営を可能にするためのマネジメント研修、貸館利用者の希望に的確に対応できるステージ技術研修及び各種研修に積極的に派遣し当財団に持ち帰り組織力の向上を進めていきます。

以上が、令和2年度の公益財団法人射水市文化振興財団の事業計画の体系です。なお、大門総合会館及び匠の里の2施設については、今年指定管理者選定替えではなく、現在の期間は令和4年3月末までとなっていますが、今回高周波文化ホール、小杉文化ホールの指定管理応募提案で示した上記のとおりの基本コンセプト、施策の体系に従い管理運営をまいります。

次に、令和2年度において特に重点的に取り組む事項について申し述べます。

まずは公演事業の充実についてです。公演事業については、高周波文化ホールの規模や多彩な舞台機能を活用すること、また、小杉文化ホールの優れた音響効果を生かした公演に引き続き取り組みます。さらには、小ホールも生かした公演事業にも取り組んでいきます。

次に施設を離れた事業展開についてです。従来からの学校コンサートを引き続き開催する一方で、新湊地区や小杉地区で新たに誕生する施設においてもアウトリーチ事業の開催を検討していきます。

加えて(仮称)射水アーティストクラブ設立に向けた準備についてです。人材情報を整理するとともに、先進地の視察調査を進め、クラブ設立の基盤を着実に進めてまいります。

最後に事務局を強化していきたいと考えています。職員には提案型で研修機会を与え、その成果について事務局に復命を義務付け、事務局全体でその成果を共有し組織力向上に努めていきます。

市民の期待に応えていくためには何よりも大切なものは明るく笑顔のある窓口であると考えています。令和2年度には新規採用職員2名が新たに加わります。組織力向上に全職員で取り組んでいきます。

なお、令和2年度からの指定管理期間においては、当財団の現時点における財政状況を考慮し、公演事業チケット単価の割引や周年事業開催のための特定費用準備資金積み立ての検討等、市民が芸術文化に親しむ機会の増大につながる施策に積極的に取り組んでいくこととし、全職員一丸となって市民が芸術文化に親しむ機会づくり等に積極的に取り組んでいきます。

令和2年度事業計画

II 実施計画

定款第4条に掲げる6事業のうち、芸術文化公演事業、地域の芸術文化活動の普及育成及び援助、芸術文化に関する情報の収集及び提供、芸術文化振興のための国内外との交流、市の芸術文化事業及び施設の管理運営受託事業については、以下のとおりとします。

1 芸術文化公演事業

(1) 当財団が管理運営する高周波文化ホール(射水市新湊中央文化会館)、アイザック小杉文化ホール(射水市小杉文化ホール)、大門総合会館において、各施設の持つ特性を生かしながら文化振興に関する各種芸術文化公演事業の活性化を図ります。市民が文化に触れる機会、参加する機会などの充実を図るとともに、心の豊かさを感じていただくような魅力的な事業を実施し集客に向けて積極的に取り組みます。

(2) 射水市文化ホール友の会会員へのサービスの向上を図るとともに、当財団が主催する公演事業を通して、芸術文化への理解と教養を深めます。

No.	公演タイトル	概要	時期	ジャンル	主な対象	効果・狙い	開催館
1	地域創造3館連携補助金 対象事業 オペラ「おしち」	文楽・歌舞伎等の芸能でも取り上げられる江戸時代の『八百屋おしち』を題材に、オーケストラ・アンサンブル金沢の演奏と声楽家による「邦楽と洋楽の融合」をテーマとした異色の内容でおくる市民参加型のオペラ。	8月上旬	オペラ	一般	・多目的に利用できるホールの特性を活かすほか、市民参加型事業として地域の音楽活動者達に参加してもらい、今後の活動に刺激を与える ※石川県立音楽堂、四日市市文化ホールとの3館連携事業として地域創造に補助金申請・内定。	新湊 (大)
2	オスマン・サンコン & アフリカンフレンズ コンサート	いしかわ「風と緑の楽都音楽祭」の関連事業の一環としての公演で、前半はサンコン氏のトークショー、後半はアフリカンバンドのステージという内容。	5/5 (火・祝)	ワールド ミュージック	一般	・ホールの音響の良さを活かし、質の高い音楽を地域住民に届けるほか、普段あまり耳にしない外国の音楽に触れてもらい、幅広い世代で楽しんでもらう。	小杉
3	半崎美子 アコースティックコンサート	長い下積み時代を経験し、メジャーデビュー後はNHKみんなのうたのために書き下ろした「お弁当はこのうた ～あなたへのお手紙～」を収録したアルバムがロングヒットし、メディアや著名アーティストからも絶賛される半崎美子によるコンサート	10/10 (土)	ポピュラー	一般 学生	・アコースティックな編成での内容で、ホールの特性を活かすことができるほか、子供コーラスとの共演等も予定し、幅広い世代に楽しんでもらう。	小杉
4	影絵と和楽器の共演 (仮称)	平成30、31年度に開催した「琵琶と箏と影絵でつづる 今様 赤頭巾」、「影と光とうた物語」と同じメンバーの4名、琵琶:坂田美子、箏:稲葉美和、影絵:ジャック・リー・ランダル(富山県在住)、広田郁世(射水市在住)でお送りする、影絵と和楽器の共演企画。	通年 (要調整)	影絵 伝統芸能	一般 学生	・一般的に知られている物語やオリジナルのストーリーを、伝統的な和楽器と影絵で表現し、大人から子供まで楽しんでもらう。 ・富山県在住の出演者を活かした事業	大門
5	オーケストラ・アンサンブル金沢 ラポールニューイヤー コンサート2021	オーケストラ・アンサンブル金沢を迎えての新春恒例のニューイヤーコンサートで、国内の著名なオーケストラとも数多く共演し、多方面に活動している鈴木優人(指揮/オルガン奏者)を今回迎えての公演。	2021. 1/10 (日)	クラシック	一般 学生	・ホールの音響の良さを活かし、質の高い音楽を地域住民に届ける。	小杉

No.	公演タイトル	概要	時期	ジャンル	主な対象	効果・狙い	開催館
6	清水ミチコ TALK&LIVE	モノマネの女王と呼ばれ、ピアノ弾き語りモノマネや顔マネなどで人気のほか、歌手としても定期的にリリースを重ねるなど多方面に渡りマルチに活躍中の清水ミチコによるコンサート	2021. 3/14 (日)	ポピュラー エンターテ イメント	一般	多目的に使用可能なホールの特性を活かすほか、幅広い客層をホールに呼び込む。	新湊 (大)
7	→Pia-no-jaC← ライブ	鍵盤と打楽器だけというシンプルな構成ながら、重厚かつ多彩な演奏はオーケストラ並みの迫力を持ち、スリル満点の演奏とコミカルなパフォーマンスで幅広い層から支持を得ている2人組によるコンサート。	6/27 (土)	インストゥル メンタル	一般	・多目的に使用可能で、臨場感を味わえる小ホールの特性を活かすほか、幅広い客層をホールに呼び込む。	新湊 (小)
8	スギテツwith溝口肇 ～クラシックで遊ぼう～	クラシックをベースに、「犬のおまわりさんの運命」「アイネ・クライネ・3分クッキング」「青く美しきドナウ河のさざなみ殺人事件」など、誰もが知っている名曲を3人の独自のユニークな視点でアレンジした、年齢層を問わずに楽しめるコンサート。	通年 (要調整)	クラシック	ファミ リリー	・ホールのお響の良さを活かした質の高い音楽を、幅広い年代層の地域住民に届ける。 ・クラシックの名曲を楽しめる内容でアレンジして演奏する内容で、普段あまりクラシックに馴染みの無い方々にも足を運んでもらう。	小杉
9	富山県公立文化ホール ネットワーク公演事業 北前船がつなぐ各地の民謡 (仮称)	富山県公立文化ホールネットワーク公演事業として開催するもので、北前船にルーツを持つ新湊めでたや、北前船が寄港した各地域の民謡等を披露するコンサート。	通年 (要調整)	民謡 地域芸能	一般	・ホールの特性と、地元にはゆかりのあるアーティストを活かした事業として、地域文化の底上げを図る。 ・地元で伝わる芸能や背景にスポットをあて、その魅力を再認識してもらう。	新湊 (小)
10	富山県公立文化ホール ネットワーク公演事業 プロ演奏家と地元団体 共演コンサート(仮称)	ベートーヴェン生誕250年記念イヤーを共通テーマに、ネットワーク公演として開催するもので、著名な演奏家を招き、テーマに纏わる曲目を演奏するほか、地元の演奏家たちと共演する内容。	12月 中旬	クラシック	一般 学生	・ホールのお響の良さを活かし、質の高い音楽を届けると共に、地元にはゆかりのあるアーティストと共演することで地域文化の底上げを図る。	小杉
11	立川志の輔独演会 (射水市観光協会受託事業)	おなじみ、射水市(旧新湊市)出身の落語家、立川志の輔による独演会	2020. 秋予定	落語	一般	・地元出身者を活かした事業	新湊 (大)
12	文化ホール友の会事業	・年会費5,000円で財団が主催する公演の中から、チケット代金8,000円以内で選択可能。 ・選択外の主催公演については、割引価格で提供する。 ・隔月で財団の催事情報を提供する。	通年	-	一般	・当財団が主催する公演事業を通して、芸術文化への理解と教養を深める。	新湊 小杉 大門

2 地域の芸術文化活動の普及育成及び援助事業(自主公演事業)

(1) 国内外との交流による芸術文化振興事業

市民に広く芸術文化に対する普及啓発を行うため、当財団が指定管理を受けている施設を拠点として活動する各種芸術文化団体を支援するとともに、育成団体を媒体として地域住民に身近な芸術文化と接する機会を提供する。

No.	公演タイトル	概要	時期	主な対象	効果・狙い	開催館
1	普及育成団体支援活動	当財団の普及育成団体の日頃の練習および地域のイベントへの出演等の活動を支援する。市民に積極的に働きかけ新たな普及育成団体を誕生させる。	通年	一般学生	・普及育成団体の日頃の文化活動や、地域のイベントへの出演等を通して地域を活性化し文化度を上げる。	—
2	第12回射水市合唱祭	射水市を拠点に活動している合唱団体が一堂に集い、日頃の成果を披露する。	9/13(日)	一般学生	・地元を拠点として活動する合唱団体の日頃の成果の発表の場として、また合唱愛好家や活動者を増やし、地域の活性化を図る。	小杉
3	第24回こすぎ童謡フェスティバル	当財団の普及育成団体であり、小杉文化ホールを拠点に活動している小杉童謡の会が中心となり、他合唱団体と共に童謡を歌いあげ、地域の活性化や次世代への童謡の継承を推進する。	10/24(土)	一般学生	・日本の大切な文化の一つである童謡、唱歌を次世代に継承し、童謡を通して地域の活性化を図る。	小杉
4	第34回新湊地域吹奏楽フェスティバル	新湊地域を中心に活動している吹奏楽団体が一堂に集い、日頃の成果を披露する。	11/22(日)	一般学生	・活動者の日頃の成果を発表する場として、また吹奏楽愛好家や活動者を増やし地域の活性化を図る。	新湊
5	ロビーコンサート	新湊中央文化会館大ホールロビーを会場にし、毎月開催。ロビーコンサート友の会への登録団体が日頃の練習の成果を発表。	通年	一般学生	・出演者と客席が、顔の見える距離で一体感のある公演を行うことで、地域住民を巻き込んだ文化振興を実践する。 ・定期的に行うことで、来館者への財団事業の周知を高める。	新湊 小杉 大門
6	彩り楽園	コーラス、大正琴、ヴィオラ、ヨーガ、日本画、健康講座等、6講座を開催。年度末に「彩り楽園祭」を開催し、発表や体験講座を行う。	通年	一般	・住民の教養の向上、生活文化の振興につながる講座を開設し、会館の賑わいづくりと利用者の増加を図る。	新湊
7	カラオケ教室	講師に友井昌美氏を招き、教室を開催。小ホールでの発表会で、日頃の練習の成果を披露する。	通年	一般	・地域住民の「自分も何かやってみたい」という芸術心を刺激し、生活に潤いを与える。 ・会館の賑わいづくりと利用者の増加を図る。	新湊

(2) ボランティアによるホールサポーター養成事業

当財団が射水市から指定管理を受けている施設でサポーター登録している方や一般市民の方に、公演時のチケットもぎり、会場整理や楽屋ケータリング等のスタッフとして参加してもらい、ホールをもっと身近に感じてもらう。

また、富山県公立文化施設協議会で開催している文化ボランティア養成事業も案内し、参加してもらうよう呼び掛ける

(3) 文化に触れる機会の創出

高周波文化ホール(新湊中央文化会館)専属アーティストの金川睦美氏が指導する、次代を担う若き人材の養成事業を支援し、気軽に楽しめるコンサートに仕上げクラシック音楽ファン層の底上げを図るほか、会館ロビーを利用したコンサートや、市内の公共施設を利用したコンサートを開催することにより、文化に触れる機会を創出します。

No.	公演	概要	時期	主な対象	効果・狙い	開催館
1	春のいぶきコンサート	高周波文化ホール(射水市新湊中央文化会館)専属アーティストの金川睦美氏が代表・指導する団体「ヴォアナチュレル」によるコンサート。	2021.3月	一般	・次世代を担う若きアーティストを要請する。 ・クラシック演奏会を気軽に楽しめるコンサートに仕上げ、クラシック音楽ファン層の底上げを図るほか、地域住民に地元演奏家とホールをより身近に感じてもらう。	新湊
2	(再掲) ロビーコンサート	新湊中央文化会館大ホールロビーを会場にし、毎月開催。ロビーコンサート友の会への登録団体が日頃の練習の成果を発表。	通年	一般	・気軽にホールに足を運んでもらい、多ジャンルの芸術文化に触れる機会としてもらう。	新湊 小杉 大門
3	出前コンサート	ニューイヤーコンサートのプレイベントとして、ホールを出て射水市内の公共施設や文化財等を利用して開催する出前コンサート。	2020.秋	一般	・市民にとって街中の身近な施設で質の高い演奏を聴いてもらい、今後ホールでの演奏会に足を運んでもらうためのきっかけ作りとする。	市内 施設

(4) 芸術文化振興を通じた人づくり

市内の各学校と連携し、未来を担う子供たちが芸術文化に親しむ環境づくりに努め、学校訪問アウトリーチコンサートや吹奏楽クリニック事業などを通して音楽活動をサポートするほか、市内ゆかりのアーティストを積極的に発掘し、育成支援していくもの。

No.	公演	概要	時期	主な対象	効果・狙い	開催会場
1	学校訪問 アウトリーチコンサート (弦楽四重奏)	平成30年度より射水市内の中学校に出向いて行っている、オーケストラ・アンサンブル金沢メンバーによる、弦楽四重奏アウトリーチコンサート。(毎年度2校訪問予定)	通年 (要調整)	市内 中学生	次世代を担う青少年が質の高い音楽に触れ、感性を高めるための機会を設けることで、地域の文化振興を図る。	市内 中学校
2	(再掲) 富山県公立文化ホール ネットワーク公演事業 プロ演奏家と地元団体 共演コンサート(仮称)	ベートーヴェン生誕250年記念イヤーを共通テーマに、ネットワーク公演として開催するもので、著名な演奏家を招き、テーマに纏わる曲目を演奏するほか、地元の演奏家たちと共演する内容。	通年 (要調整)	一般	・ホールの特性と、地元ゆかりのあるアーティストを活かした事業として、地域文化の底上げを図る。	小杉
3	(再掲) 影絵と和楽器の共演 (仮称)	平成30年度の「琵琶と箏と影絵でつづる 今様 赤頭巾」、平成31年度の「影と光とうた物語」と同じメンバーの4名、琵琶:坂田美子、箏:稲葉美和、影絵:ジャック・リー・ランダル(富山県在住)、広田郁世(射水市在住)でお送りする、影絵と和楽器の共演企画。	通年 (要調整)	一般 学生	・一般的に知られている物語やオリジナルのストーリーを、伝統的な和楽器と影絵で表現し、大人から子供まで楽しんでもらう。 ・富山県在住の出演者(影絵の2人)を活かした事業	大門
4	射水アーティストクラブ	射水市出身・在住の演奏家たちが、お互いの持つ情報やノウハウを共有し、地元ホールでの演奏会等を企画・開催して地域文化の底上げにつながるためのグループ作り。	通年	—	・射水市出身もしくは在任のアーティストを、市民の皆様に今まで以上に知ってもらい、地元でのファンを増やす。 ・演奏家同士が企画協力・共演する公演を通して、地域の文化度を上げると共に演奏家たちに地元ホールに愛着を持ってもらう。	—

(5) 体験活動等事業

射水市陶房「匠の里」では陶芸の伝統文化を継承し、手作り文化活動の振興及び有意義な余暇の活用を通して、個々の触れ合いと豊かな生活の創造を図るため、個人や団体活動(親子活動や町内活動、趣味のサークル活動)での作陶を体験する事業を展開します。

No.	事業名	概要	時期	主な対象	効果・狙い	会場
1	陶芸教室 体験コース 定期コース	基礎から応用まで、各人のペースに合わせた作陶ができるコースを定期的で開催するもの。	通年	一般	初心者が作陶により興味を持ってもらえるためのきっかけ作りとして、また今まで作陶してきた方々のさらなる技術向上を図る。	匠の里
2	企画陶芸教室	季節や行事等をテーマにして開催する陶芸教室で、初心者の方でも手軽に体験、作陶することができる	通年	一般	陶房「匠の里」で、心の触れ合いと豊かな生活の創造を図るため、個人や団体での作陶を体験する事業を展開し、作陶に興味を持ってもらう。	匠の里
3	郷土陶芸作家作品展	富山県内の陶芸作家の作品を定期的に展示するもの。	通年	一般	富山県内陶芸作家の優れた作品を展示し、鑑賞できる機会を設けることで、作陶する方々に刺激を与えるほか、陶芸作品に興味のある方が施設に足を運ぶ機会とする。	匠の里
4	陶芸祭	匠の里を拠点として活動する「陶友会」と協力して、毎年10月に開催するイベント。	秋	一般	誰もが気軽に足を運べるイベントとして開催し、陶芸体験や作品展示等を通じて陶芸に興味を持ってもらったり、作陶する人を増やす。	匠の里
5	郷土作家講演会	富山県にゆかりのある陶芸作家を招いての講演会	年2回	一般	富山県にゆかりのある陶芸作家を招いて、作陶にかかる経験談やアドバイス等を聞ける貴重な機会とし、陶芸に携わる方々に刺激を与える。	匠の里

(6) 芸術文化に関する積極的な情報収集および発信事業

射水市出身等の人材や市内の芸術活動に関する積極的な情報収集に努め、効率的で効果的な公演事業を開催していきます。また、毎月の市報や隔月で会館情報紙(当財団の主催事業、共催事業、貸館貸与状況、その他)の発行や財団ホームページ等SNSの積極的な活用を図り、利用者にとって有益な情報を提供いたします。

No.	事業名	概要	時期	主な対象	効果・狙い
1	情報発信事業	財団・各館のホームページ、メールマガジン、ツイッター、フェイスブック等のSNSを活用しての情報発信および財団情報紙や市広報紙への情報掲載等による情報提供。	通年	一般	会館利用者およびコンサート鑑賞の来館者等にとって有益な情報を提供し、会館利用促進・来館の機会を増やす。
2	文化ホール友の会事業	<ul style="list-style-type: none"> 年会費5,000円で財団が主催する公演の中から、チケット代金8,000円以内で選択したものを招待する。 選択外の主催公演については、割引価格で購入できる。 	通年	一般	<ul style="list-style-type: none"> 様々なジャンルの催事を選択可能として鑑賞する機会を提供することで、今までなじみの無かったジャンルにも興味を持ってもらえるようなきっかけとする。 隔月で財団主催事業や貸館催事情報を提供し、会館利用促進・来館の機会を増やす。

(7) 施設貸館等公益事業

各施設において利用者へ丁寧な説明・対応し、リピーターの確保に努めるとともに、新規利用者を開拓するため広報宣伝活動にも取り組んでいきます。各施設のホール、会議室、研修室、練習室、実習室等の貸館事業を通して、多くの人が芸術文化を通じて喜びや感動を味わうことができる人たち同士の交流の輪が広がるよう努めます。習い事の集大成として自らが何かを発表したい、表現したいという願望を成就させるための発表の場や練習会場、打ち合わせ場所として各施設を貸与します。

3 職員資質向上の取組

当財団が舞台芸術の豊かさを市民にも感じていただく事業を実施していく上で、職員の芸術文化に対する専門知識等の向上が必要です。文化振興に誇りと責任を持ち、高い専門性と幅広い視野を備え、文化事業の企画および調整を図ります。そのために、近隣で開催される芸術文化事業に積極的に参加し感性を高めたり、その運営や技術について学ぶ経験を積んだりするなどの職員研修を行います。

No.	概要	目的・狙い	時期
1	研修会への参加	全国公立文化施設協議会や富山県公立文化施設協議会等の技術およびアートマネジメント等の研修会に参加し、職員の技術や企画力等の向上を図る。	通年
2	近隣で開催の芸術文化事業への参加・鑑賞	他館で開催される催事を職員が参加・鑑賞し、より専門的な知識を増やしたり新たな分野・ジャンル等に触れる機会として、今後のホール運営に活かす。	通年

4 施設の保守管理

(1) 当財団が管理運営する高周波文化ホール(射水市新湊中央文化会館)、アイザック小杉文化ホール(射水市小杉文化ホール)、射水市陶房「匠の里」において、「安全・安心・快適」に利用していただけるよう適切な施設管理に精力的に取り組んでいきます。

(2) 射水市大門総合会館及び正力・小林記念館においては、射水市の条例等に基づいた適正な施設の保守管理に努めるとともに、利用者のニーズを踏まえた施設運営に努めます。

5 施設貸与事業(収益)

(1) 公益目的外施設貸与業務

- ① 高周波文化ホール(射水市新湊中央文化会館)
- ② アイザック小杉文化ホール(射水市小杉文化ホール)
- ③ 射水市陶房「匠の里」

(2) チケット販売業務

- ① 高周波文化ホール(射水市新湊中央文化会館)
- ② アイザック小杉文化ホール(射水市小杉文化ホール)

(3) 作品展示販売業務

- ① 射水市陶房「匠の里」

(4) 自動販売機等取扱業務

- ① 高周波文化ホール(射水市新湊中央文化会館)
- ② アイザック小杉文化ホール(射水市小杉文化ホール)
- ③ 射水市陶房「匠の里」

6 公益目的外施設管理事業

(1) 射水市大門総合会館及び正力・小林記念館の管理業務

(2) 射水市大門総合会館で実施する主催公演及び自主公演並びに施設貸与事業、チケット販売業務

(3) 射水市新湊図書館の管理業務